

保育だより

2022年 4月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

理解し合(愛)う

園長 福澤紀子

本年度で創立50周年を向かえる“つるた乳幼児園”。昭和47年4月1日開設、今までに1100人前後の修了児を送り出してきました。

その内容とは、一貫して“本物の愛”の中で人格教育を謳い、理念と基本目標は子どもが目指す姿だけではなく、大人に向けてのメッセージも含まれています。“人間としての生き方”を深く求めたものです。大人自身が自分の生き方を通して子どもと関わることの大切さを説いていることです。また“つるた乳幼児園”を森といずみとにじの園ともネーミングし、いろいろな花が咲き誇り、百花繚乱(多くの花が咲き乱れること。また同じように優れた人材や業績が一時に多数出現すること)、どの花も美しいと人間を花に例え全体を園(その)とも表しています。

法人としては福祉の観点から誰もが平等に、そしていつでも“プラッと来て、プラッと帰る”気軽に立ち寄れる園(場所)としての存在でありたいと思っています。

“鶴田町で生まれ、鶴田町で育ち、鶴田町を離れてもここに故郷を感じ、最後は鶴田町の地に眠る”と思えるように、また人々が行き交い、子どもも大人も老人もしょうがいの有無に関係なく共に豊かに暮らせる町づくり、地域づくりを目指してきました。

一人一人が大切な存在であり、乳幼児期は人生を木に例えるのならば基礎となる根の部分に当たると思います。特に丁寧に手間暇を

かけ、心を込め心を尽くしてじっくりと根が土の中で育つようにと願い関わっています。これらのことを“つるた乳幼児園”では「体験型教育・保育」と呼んでいます。実践するには先ず、一人一人の子ども理解から始まり、周りの大人同士(保育教諭・保護者)が理解し合うことで信頼関係が築きあげられ、大人からのまなざしが子ども自身を包み込み、安心してその年齢にふさわしいダイナミックな体験ができるからです。予測困難な時代をこれから生きる子ども達のために今体験すべきことを大人が責任を持って保障してあげたいと思います。「赤ちゃんの1日は、大体、大人の30日分。3歳の子の1日は、大人の15日分。6歳で7日分」とされ、すごいスピードで、密度の濃い毎日を、子どもは生きています。子どもの1日1日はとても貴重でかけがえないものです。決して焦ってはいけません。

今年度は互いに理解し合(愛)い、園においても家庭においても、一緒に子どもの意思を尊重して体験を保障してあげたいと思います。

